

# 全国で利用されている 田んぼアート用観賞用稲の紹介

水稻品種開発部

## 1. 背景・目的

近年、稲を使って田んぼに絵を描く田んぼアートが全国各地で実施されています。その中でも、田舎館村の田んぼアートは、そのスケールの大きさと繊細な描写から、日本を代表するといっても過言ではありません。田舎館村では、最初は葉色が緑・黄・紫の3色の稲を使って描かれていましたが、技術の進歩とともにより精細な図柄が表現できるようになってきたため、それまでとは異なる葉色や穂色の観賞用稲の開発が要望されていました。

そこでこれまでにない葉色や穂色を持つ、7種の観賞用稲を開発しました。

## 2. 農総研で開発した7種の観賞用稲

ゆきあそび

べにあそび

あかねあそび

赤穂波

紫穂波

白穂波

青系観236号

## 3. 活用等

令和7年度は田舎館村のほか、北は北海道、南は鹿児島県まで、全国51カ所に種子を配付し、全国各地の田んぼアートの盛り上がりには寄与しています。



令和7年田舎館村田んぼアート